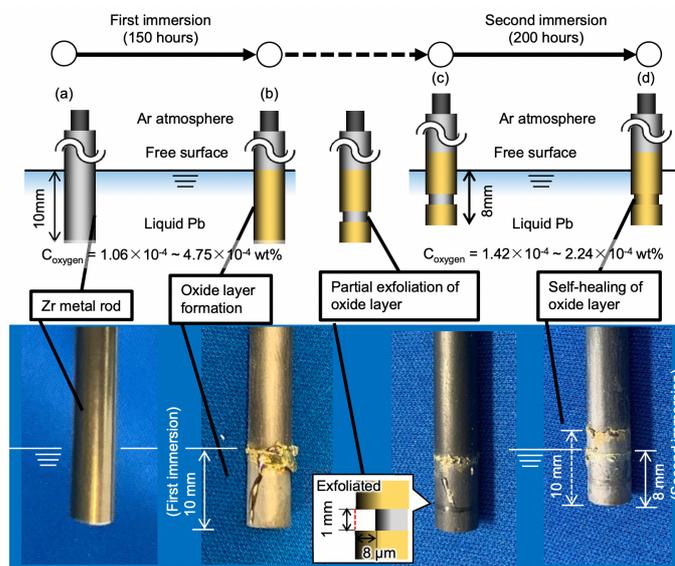


プラズマ・核融合学会誌

第98巻第11号

2022年11月

小 特 集	「あけぼの」衛星の四半世紀にわたる観測で明かされたジオスペースの姿と将来展望		
	1. 「あけぼの」衛星の26年間のミッションのサマリと関連分野への貢献		
 松岡彩子, 三好由純, 加藤雄人	457	
	2. 「あけぼの」で観測されたオーロラ加速機構 坂野井健, 諸岡倫子	460
	3. オーロラ現象と AKR 森岡 昭	466
	4. 極域電離圏からのイオン流出		
 阿部琢美, 渡部重十, YAU Andrew, 北村成寿	472	
	5. プラズマ波動観測が明らかにしたプラズマ圏の時間・空間変動		
 笠原禎也, 熊本篤志	477	
	6. 「あけぼの」衛星による放射線帯の観測 三好由純	484
	7. まとめと将来計画への発展 松岡彩子, 三好由純, 加藤雄人	491
Plasma and Fusion Research 掲載論文アブストラクト		494	
インフォメーション		495	
	ITER だより ⁽⁹⁶⁾		
本 会 記 事		497	
	【こちら編集委員会です】発表！2022年上半期の学会誌（1～6月号）でもっとも多くダウンロードされた記事はこちら！		
編 集 後 記			



表紙の絵

核融合炉の液体ブランケットや液体ダイバーターにおいて、液体金属と候補構造材料の化学的共存性が課題とされている。著者は構造材料表面を自己形成する酸化被膜で覆い保護する技術を共存性改善策として開発してきた。図は、液体金属鉛中に浸漬した金属ジルコニウムが表面に酸化被膜を自己形成する機能と、酸化被膜の一部が破損しても液体金属中で自己再生する機能を捉えたものである。

(Atsushi KAWARAI and Masatoshi KONDO, Plasma and Fusion Research, Vol. 17, 2405059 (2022) <http://www.jspf.or.jp/>)

【複写をされる方へ】本学会は、本誌掲載著作物の複写に関する権利を一般社団法人学術著作権協会に委託しています。本誌に掲載された著作物の複写をご希望の方は、(社)学術著作権協会より許諾を受けてください。但し、企業等法人による社内利用目的複写については、当該企業等法人が公益社団法人日本複製権センター（社）学術著作権協会が社内利用目的複写に関する権利を再委託している団体）と包括複写許諾契約を締結している場合にあっては、その必要はありません（社外頒布用の複写については許諾が必要です）。

権利委託先：一般社団法人学術著作権協会 〒107-0052東京都港区赤坂9-6-41乃木坂ビル 2F Tel:(03)3475-5618 E-mail: info@jaacc.jp

複写以外の許諾（著作物の引用、転載、翻訳等）に関しては、(社)学術著作権協会に委託しておりません。直接当学会へお問い合わせください。